

平成 26 年度業績集

【英文原著】

1. Honda RP, Kei-ichi Yamaguchi, Kuwata K. Acid-induced Molten Globule State of a Prion Protein: Crucial Role of Strand 1-Helix 1-Strand 2 Segment. *The Journal of biological chemistry*. pii: jbc.M114.559450 *J boil Chem.* 289(44),30355-30363,2014

【国際学会一般公演・ポスター発表】

1. 桑田一夫 : Toward the First in Human Clinical Trial of Medical Chaperone APPS2014 7月6日-7日 済州, 大韓民国
2. 桑田一夫、山口圭一 : Understanding the Prion Diseases and Logical Design of a Medical Chaperon / 二国間交流事業セミナー「蛋白質異常凝集の原理と制御 (Mechanism and regulation of aberrant protein aggregation)」 11月19日 大阪大学蛋白質研究所、日本

【国内学会・シンポジウムポスター発表】

1. 桑田一夫、山口圭一 : CXDIによるアミロイド線維の一分子構造解析 第14回日本蛋白質科学会年会 6月27日 ワークピア横浜/横浜産貿ホール
2. 鎌足雄司、桑田一夫 : Sup35 天然変性領域のアミロイド構造多形形成機構の解明 第14回日本蛋白質科学会年会 6月27日 ワークピア横浜/横浜産貿ホール
3. 本田諒、山口圭一、桑田一夫 : プリオン蛋白質のモンテグロビュール状態の発見とオリゴマー形成との関連 第14回日本蛋白質科学会年会 6月27日 ワークピア横浜/横浜産貿ホール
4. 桑田一夫、山口圭一 : キネティックNMRによるタンパク質の‘かたち’の進化の観測 第53回NMR討論会 11月4日 大阪大学コンベンションセンター
5. 小栗 弘成、遠藤 智史、宮城 菜未希、胡 大イ、荒井 裕貴、松永 俊之、五十里 彰、桑田一夫、原 明、合田 浩明、豊岡 尚樹 : カルボニル還元酵素 (CBR1) 阻害活性を有する 8-Hydroxy-2-imino-2H-chromene-3-carboxamide 誘導体の創製 第32回メディシナルシンポジウム 11月26日~28日 神戸国際会議場
6. 真崎悠、小林周、関口優希、笠口友隆、中迫雅由、山口圭一、桑田一夫、亀田啓、福井直也、河田康志、高山裕貴、山本雅貴 : XFEL 低温コヒーレント X 線回折イメージングによるアミロイド繊維凝集体の構造研究 第28回日本放射光学会年会・放射光化学合同シンポジウム 2015年1月12日 立命館大学
7. 桑田一夫 : プリオン病治験体制の整備 革新的医療研究開発で挑む神経変性疾患—プリ

オン病治験体制の確立に向けてー 2015年2月14日 名古屋国際会議場

8. 桑田一夫、本田諒：プリオン蛋白質のミスフォールディング過程におけるモルテングロビュール状態 第四回岐阜構造生物学・医学・論理的創薬研究会シンポジウム 2015年3月5日 岐阜薬科大学

【国内特別講演】

1. 桑田一夫(招待講演)：論理的創薬から GMP 製造へ 日本薬学会東海支部 特別講演会 4月16日 岐阜薬科大学・本部
2. 桑田一夫 (招待講演)：プリオン病に対するメディカルシャペロンの医師主導治験に向けて 9月18日 国立精神・神経医療研究センター

【国際学会】

1. 桑田一夫：Prion2014 2014年5月27日-30日 トリエステ, イタリア

【報道】

1. (学内事前取材及び当日番組出演)「“先制医療”で防げ! アルツハイマー病に挑む」 2014年8月1日 NHK 総合「ナビゲーション」
2. (学内取材、新聞掲載)「岐阜大、治験薬製造へ ヤコブ病、来月に設備完成」岐阜新聞朝刊 2015年2月3日
3. (学内取材、新聞掲載)「プリオン病岐阜大が薬治験 2017年1月開始 世界初」読売新聞 2015年2月11日
4. (学内取材、新聞掲載)「プリオン病治験体制テーマ 岐阜大が 14日シンポ」岐阜新聞 2月12日
5. (学内取材、新聞掲載)「プリオン病薬、治験段階に 岐阜大が医薬品製造施設を公開」中日新聞 2015年2月13日
6. (新聞掲載)「認知症起こす「プリオン病」 岐阜大が新薬治験へ」毎日新聞 2015年2月22日

【特許】

1. アイソトープ標識化合物及びアイソトープ標識化合物前駆体 発明者：桑田一夫、木村力、武藤淳二、古山浩子、鈴木正昭、渡辺恭良、土居久志、佐古健生 特願 2009-218247 出願日 2009年9月21日 特許第 5618042 号 2014年9月26日登録
2. プリオンタンパク質構造変換抑制剤及びその利用 発明者：桑田一夫、木村力、武藤

淳二 特願 2011-513378 出願日 2010 年 5 月 13 日 2014 年 11 月 17 日特許査定

3. 抗プリオン化合物のマレイン酸塩及びその製造方法、並びにその医薬組成物 発明者：桑田一夫 PCT 出願：2014-023838 出願日 2014 年 2 月 10 日
4. テトラゾール誘導体及び抗インフルエンザウイルス剤 発明者：桑田一夫、福岡万佑子
特願 2015-10467 出願日 2015 年 1 月 22 日